



取扱説明書

電動式グリースガン

EG- 400A II ITEM No.855003

EG- 400B II ITEM No.855004



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、建設機械や各種給脂部などにグリースを供給するための電動式グリースガンです。

専用の 420 mL 用蛇腹カートリッジグリース（以降カートリッジグリースと記述）を使用して、スイッチ操作で簡単にグリース給脂が行えます。

以下の 2 種類の製品があり、グリース以外の液材には使用できません。

EG-400A II・・・家庭用電源 AC100V で作動します。屋内で使用されるあらゆる機器のグリース給脂に適しています。

EG-400B II・・・バッテリー式のグリースガンです。電源やエア源がない場所でも手軽に持ち運べ建設現場、船舶、高所でのグリース給脂に最適です。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告



- 本製品は非防爆仕様です。防爆機構が必要な場所では使用しないでください。



- 本製品は非防滴仕様です。雨水がかかる場所で使用、保管しないでください。
また、手が濡れている状態で本製品を操作しないでください。感電する可能性があります。



- 本製品のリリースバルブは出荷時に調圧しているため、絶対に触れないでください。リリースバルブの調圧を変更すると正常な圧力で作動できず、本製品の故障や人身事故が発生する恐れがあります。



- 本製品を操作する際は吐出口、リリース口、圧抜き口に顔や手を近づけないでください。
エア混じりの液材が噴出する恐れがあり、失明や手の負傷に繋がる恐れがあります。



- グリースを取り扱う際は重要な注意事項があります。【グリース取り扱い上の注意事項】を熟読された上で使用してください。また、本製品指定の純正カートリッジグリースを必ず使用してください。

⚠ 注意



- 本製品はホースの脱着を除き分解しないでください。



- 保管時ノズルホルダーにカプラーをつけた状態で本製品を動かさないでください。グリースが吐出され、施設を汚染する恐れがあります。



- 本製品の電源コードやホースを持って運搬しないでください。製品の故障および感電やホースの破裂の原因となる恐れがあります。



- 作業中や保管時にスタンドを使用する場合、スタンドに過度な力をかけないでください。特に給脂時にスタンドを地面につけている状態で体重をかけると、破損してケガをする恐れがあります。



- 本製品の吐出口（カプラー）を自分の手や人に向けて吐出しないでください。自分の手、または人に向けて吐出させるとケガをすることがありますので絶対に止めてください。



- 油筒の確認窓や鎖の切り欠きに指を入れたり切り欠きから中を覗き込んだりしないでください。鎖が外れたりした際に人身事故に繋がる恐れがあります。



- 使用条件によっては本製品が熱くなる場合があります。ヤケドを負う恐れがありますので、十分冷却されるまで触れないでください。



- 本製品を使用する際は手で製品の排気穴を塞がないよう注意してください。排気穴を塞いで使用すると、本製品が熱を持ちやすくなり、故障の原因となります。



- カプラー接続中にホースまたは本製品に無理な力をかけないでください。ホースの破損や製品故障の原因となります。



- ホースの最小曲げ半径は 40 mm です。それ以下の屈曲では使用しないでください。また折れ癖がついた場合は、純正品と交換してください。



- カートリッジグリースをセットしない状態やグリースがなくなった状態で空運転を続けると、本製品の故障の原因となりますので絶対に行なわないでください。



- EG-400A II シリーズのロックボタンは使用しないでください。EG-400B II シリーズのトリガーロックボタンのように製品の誤作動を防ぐためのものではありません。ロックボタンを使用すると電源投入と同時に自動的に給脂してしまい、思わぬ事故が発生する恐れがあり大変危険です。万が一ロックボタンが作動してしまった場合は、再度引き金を引き、ロックボタンが解除されたことを確認してから引き金を戻してください。



- 本製品を清掃する際はガソリンや有機溶剤を絶対に使用しないでください。製品の故障や事故の原因となる恐れがあります。



- 取り扱う液材は地面などに直接排出しないでください。有害物質などの処分は液材メーカーの取扱注意事項（SDS など）や適用される法規に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った液材を除去したうえで、法規に従って処分してください。（公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。）



- 本製品を操作する前に、グリースロックカプラーの取扱説明書(梱包パッケージに記載)を熟読し、理解できるまで操作を行わないでください。万が一紛失してしまった場合は弊社 HP から「グリースロックカプラー GLC-70 (Doc. No. OSA 102U)」をダウンロードしてください。



- 本製品を使用する前に、製品本体にキズがないか、ホースにヒビや劣化がないか確認を行ってください。製品にキズがあったり、ホースが劣化していたりすると人身事故の原因となる恐れがあります。



- 本製品を使用する際は適切な保護具（保護メガネ・保護手袋）を着用して作業を行ってください。保護具を着用せずに作業を行うと、思わぬケガや事故に繋がる恐れがあります。（30 分以上作業を行う可能性がある場合は、耳栓もしくはイヤーマフを着用してください。）



- カートリッジグリースを取り付ける際、グリースが皮膚に触れないようにしてください。皮膚に触れると炎症を起こす恐れがあります。【グリース取り扱い上の注意事項】を参照してください。



- カートリッジグリースの取り付けは必ず製品の電源供給前、もしくはトリガーロックボタンを外す前に行ってください。コンセントを差し込んだ状態やトリガーロックボタンを外した状態でカートリッジグリースを取り付けると、不意に製品が作動し、思わぬケガや事故に繋がる恐れがあります。



- カートリッジグリースを取り付けるため、油筒のスプリングを引く際はケガをしないよう十分注意して引き、鎖が切り欠き部に確実に引っ掛かっていることを確認してください。鎖の引っ掛かりが不十分だと作業中に鎖が外れ、スプリングが勢いよく戻ることによってケガを負う恐れがあります。【EG-400A II】



- 本製品を使用する際に、油筒の鎖が引っ掛かっていないか確認してください。鎖が引っ掛かっていると、正常にグリースが吐出できない恐れがあります。

注意

-  - 本製品を使用、保管する際は汚れを拭き取り、手を滑らせて地面に落とさないように注意して取り扱ってください。
特に油筒の鎖を引っ掛けて落としたりしないように注意してください。
製品の落下により、製品が破損し漏洩や誤作動を起こす恐れや、足をケガする恐れがあります。
-  - 作業終了後や長時間使用しない場合、または本製品を持ち運ぶ場合は、誤作動を避けるため、必ずプラグが抜いてあるか、トリガーロックボタンが掛かっているか、バッテリーが抜いてあるか確認を行ってから持ち運んでください。
-  - グリースを給脂する際には必ずカブラーとチャック（相手先）が正しく接続されているか確認してください。正しく接続されていない状態で給脂作業を行うとグリースが漏れ、施設を汚す恐れがあります。
-  - 給脂先は必ず開放状態で使用してください。閉塞状態による使用は危険です。
-  - 本製品を高圧で使用し続けたり、長時間連続運転し続けると本製品の故障やバッテリーの劣化に繋がる可能性があります。長時間使用する際は、作業時間 1 分ごとに 3 分程度の休憩を目安に使用してください。
-  - 本製品の使用中に異常を感じた場合は使用を中止して、最寄りの販売店か代理店に連絡してください。
-  - 本製品を清掃する際は、乾いた布に中性洗剤を軽く染み込ませ拭き取ってください。また、多量のグリースが付着してしまった場合、一度乾いた布でグリースを拭き取ってから清掃を行ってください。グリースが付着したまま清掃を行うと、グリースが排気穴を塞いだり内部に入り込んだりすることで、本製品の故障や人身事故の原因となる恐れがあります。
-  - 本製品を保管する際はゴミや埃が入らないように注意してください。ゴミや埃が入る環境で保管する場合は、ビニール袋に包む、ホースを外して製品とホースの双方にキャップをつけるなどの対策を行ってください。ゴミや埃が入ると本製品の故障や、グリース給脂の際にゴミが入り相手部品の故障に繋がる恐れがあります。
ケース付きタイプの場合は、本書の「5. 収納に関して」の項を参照し、キャップをつけた後ケースごとビニール袋に入れるなどの防塵対策を行ってください。
-  - 本製品を保管する際は落下しないよう適切な場所を選んで保管してください。落下すると、本製品の故障や、破損により思わぬ事故に繋がる恐れがあります。
-  - 肩下げベルト取り付けバーにベルトを取り付ける場合は、本書の「1.2 梱包内容」の項を参考にし、適したカラビナを使用した上で取り付けてください。
-  - 肩下げベルトを使用する場合、肩下げベルト取り付けバーに無理な力をかけないように十分注意してください。使用中に製品を落とすなど、肩下げベルト取り付けバーに無理な力がかかると破損する恐れがあります。

【バッテリー取り扱い上の注意事項】【EG-400B II】

バッテリーを取り扱う場合は、下記事項を厳守してください。

警告

-  - バッテリーは水に濡らさないでください、感電、発火の原因となります。
-  - バッテリーは破裂させると有害物質が排出される恐れがありますので、火中や焼却炉には絶対に入れないでください。
-  - バッテリーの取り扱い事項は、バッテリー本体に記載してありますのでよく読んでから使用してください。
-  - バッテリーは必ず純正品を使用してください。純正品以外のバッテリーを使用された場合、故障や事故の原因となる恐れがあります。
-  - バッテリーの充電は周囲温度 10 °C～40 °Cの範囲で充電を行ってください。この範囲外の温度で充電した場合、バッテリーの寿命を縮める恐れがあります。
-  - バッテリーの保管は周囲温度が 10 °C～40 °Cの範囲で保管を行ってください。
-  - 使用済みのバッテリーはリサイクルのため回収しています。廃棄する際は最寄りのリサイクル BOX へお持ちください。

【グリース取り扱い上の注意事項】

グリースを取り扱う場合、下記事項を厳守してください。

警告

-  - 食べないでください。(食べると下痢、嘔吐します。)
-  - 目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際には保護メガネを着用するなど、目に入らないようにしてください。
-  - 皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際には保護手袋を着用するなど、皮膚に直接触れないようにしてください。
-  - 子供の手の届かないところに保管してください。

【応急処置】

-  - 目に入った場合は、清浄な水で十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
-  - 皮膚に触れた場合は、水と石鹸で十分に洗ってください。
-  - 飲み込んだ場合は、無理に吐かず、ただちに医師の診断を受けてください。

【廃グリース・廃容器の処理】

-  - 廃グリース・廃容器（カートリッジ）の処理は、法令に従い適正に処理してください。

【保管方法】

-  - カートリッジグリースは、直射日光を避け暗所に保管してください。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	2
2. ヤマダ純正グリース	2
3. 使用前の準備	
3.1 ホースとカプラーの取り付け	3
3.2 カートリッジグリースの取り付け	3
4. 使用方法	4
5. 収納に関して	5
6. バッテリーの使用方法【EG-400B II】	
6.1 バッテリーの取り付け、取り外し方法	6
6.2 充電方法	7
6.3 表示ライトの表示内容に関して	7
7. スピード調整ダイヤルとロックボタンに関して[EG-400A II]	
7.1 スピード調整ダイヤルの操作	8
7.2 ロックボタンに関して	8
8. 保守・点検	
8.1 故障原因と対策	10
8.2 保守・点検	10
8.3 消耗品に関して	10
9. 構成図・パーツリスト	
9.1 855003 EG-400A II、855004 EG-400B II	11
10. 主要諸元	12
11. オプション（別売品）	13
12. 製品保証登録シート	14
13. 保証規定	15

1. 各部の名称

1.1 各部名称

【EG-400A II】

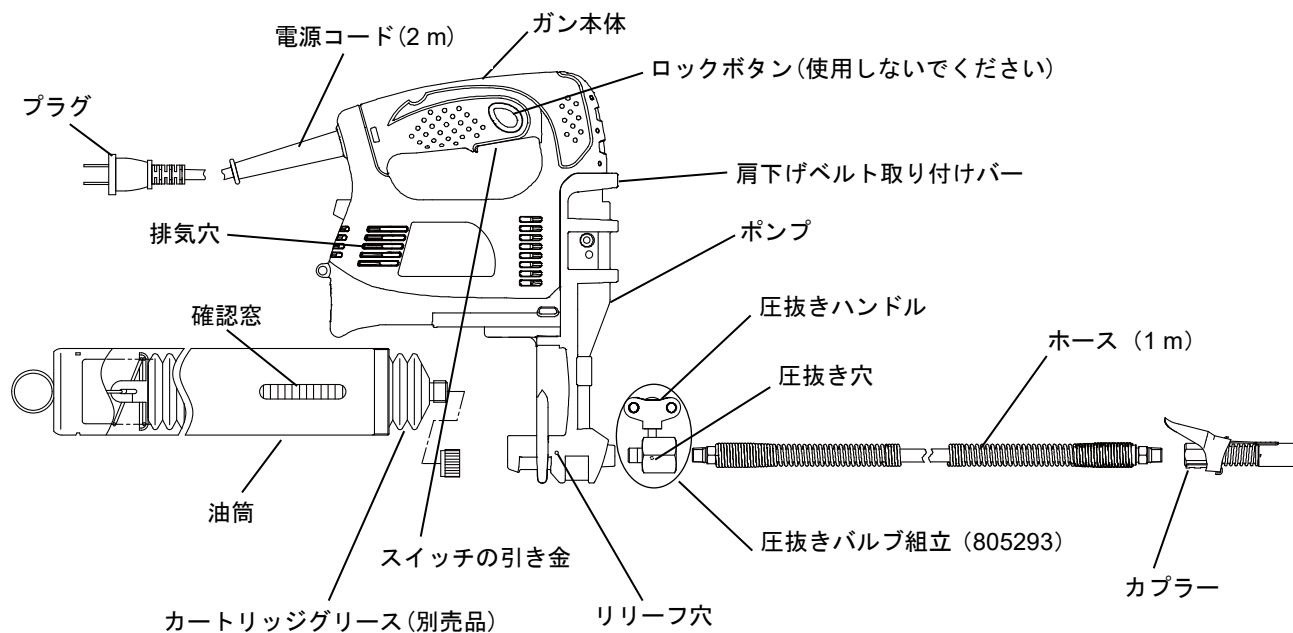


Fig.1

【EG-400B II】

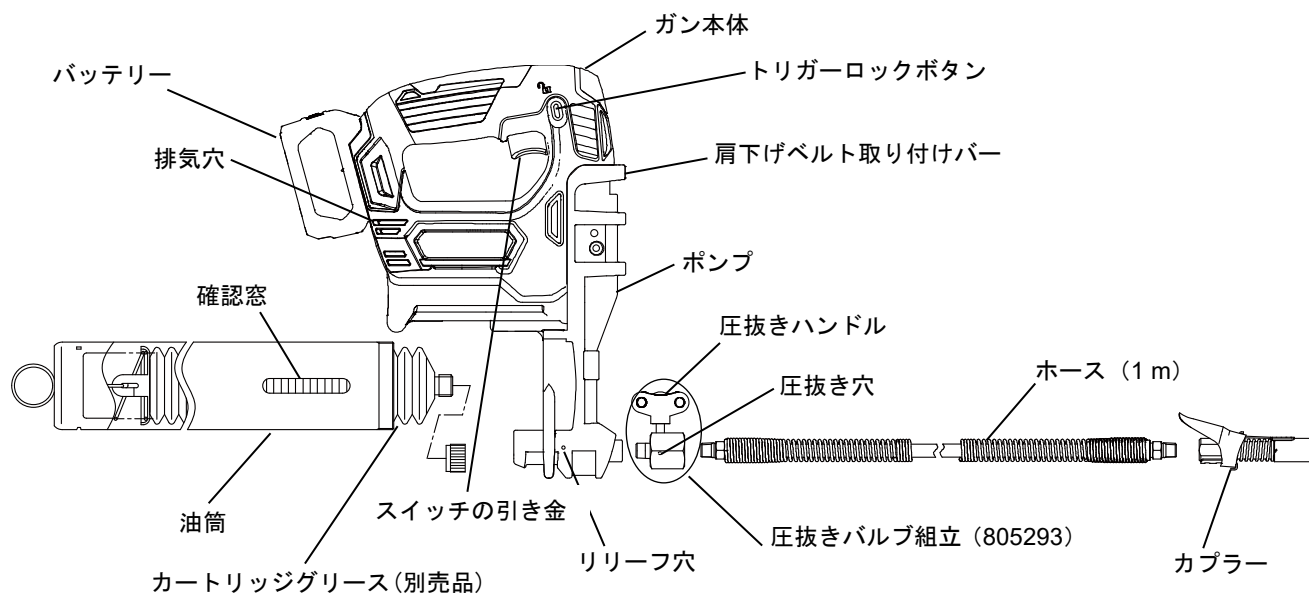


Fig.2

1.2 梱包内容

開梱後、ただちに輸送中の損傷がないかおよび付属品の欠品がないか確認してください。（下記表を参照）
また、締結部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。
（配管部品は「3.1 ホースとカプラーの取り付け」の項を参照）

製品ラインナップおよび付属品								
製品番号	型式	グリースガン	カプラー	圧抜きバルブ	ホース(1 m)	バッテリー	充電器	ケース
881207	EG-400AⅡC	○	○	○	○			○
881208	EG-400BⅡC	○	○	○	○	○	○	○
855003	EG-400AⅡ	○	○	○	○			—
855004	EG-400BⅡ	○	○	○	○	○	○	—
855005	EG-400BⅡL	○	○	○	○	○	—	—
855006	EG-400BⅡLL	○	○	○	○	—	—	—

ケースには付属品として「ケース用肩下げベルト」「ケース用鍵（2 個）」「スパナ」が付属しています。

本製品用の肩下げベルトの取り扱いはありません。肩下げベルトを使用する場合はカラビナなどを使用し、任意のベルトを取り付けてください。

（推奨カラビナ寸法：線径：φ4 以下、幅 21 mm 以下、全長：50 mm 以下）

2. ヤマダ純正グリース（カートリッジグリース）

MMG-400 タイプ	製品番号
MMG-400-MP （リチウム）	682314
MMG-400-CG （シャース）	682313
MMG-400-MO （モリブデン）	682312

特殊グリース	製品番号
NPC-WEP （耐熱用）	687221

<NOTE>

- ・カートリッジグリースを取り扱う場合は、前出の【グリース取り扱い上の注意事項】を厳守してください。

3. 使用前の準備

⚠ 注意



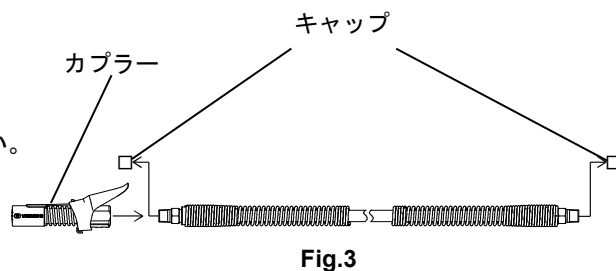
- バッテリーは、グリースの装着前に取り付けないでください。【EG-400B II】



- 本製品は 420 mL 蛇腹カートリッジ専用のグリースポンプです。必ず本製品指定の純正カートリッジグリースを使用してください。

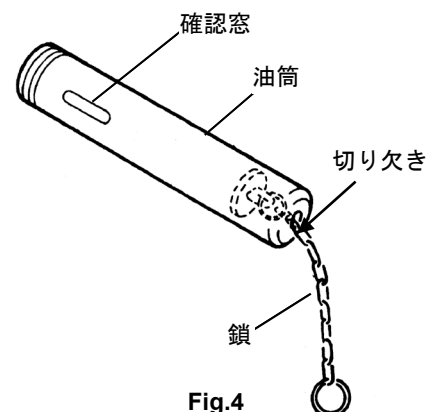
3.1 ホースとカプラーの取り付け

- 1) ホース両端のキャップを外し、両端のネジ部にシールテープを巻き、片側をカプラーに取り付けてください。(Fig.3)
- 2) ポンプ吐出口部 (Rc 1/8) のゴミ除けプラグを外してください。
- 3) 圧抜きバルブ組立のオネジ部にシールテープを巻き、ポンプ吐出口部に圧抜きバルブ組立を取り付けてください。
- 4) 圧抜きバルブ組立にホースを取り付けてください。



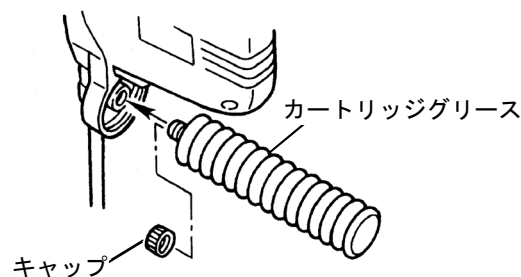
3.2 カートリッジグリースの取り付け

- 1) 本体より油筒をねじ戻して取り外してください。
- 2) 油筒の鎖を最後まで引き出し、油筒底部溝の切り欠き部に引っ掛けてください。(Fig.4)
- 3) カートリッジグリースのキャップをねじ戻して外し、カートリッジグリースを本体内のネジ部に取り付けてください。(Fig.5)
- 4) 油筒を元通り本体にねじ込み、鎖を切り欠き部より外してください。



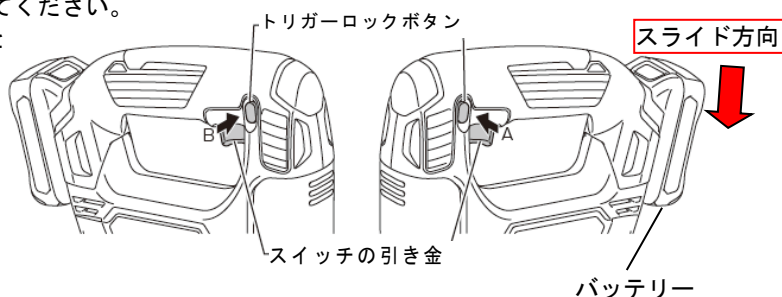
<NOTE>

- ・カートリッジグリース取り付けの際は、斜めにねじ込んだり無理に強くねじ込むとネジ部を損傷し、本体に正しく取り付けできなくなりますので注意してください。
- ・カートリッジグリース取り付けの際は、グリースに砂やゴミなどが付着しないように注意してください。また、カートリッジグリースの底を軽く押して、グリースを先端から数 mm 出してからねじ込むとエア抜きが容易です。
- ・Fig.4 の確認窓からカートリッジグリースの容器が見えなくなったら交換時期となります。上記手順でカートリッジグリースの交換を行ってください。



【EG-400B II のみ以降の操作を行ってください】

- 5) トリガーロックを外し、本体のスイッチを押してトリガーが引けることを確認後、再びトリガーロックをかけてください。
Fig.6 のトリガーロックボタンを B 側から押すとトリガーのロックが解除されます。
(スイッチの引き金が引ける状態になります)
Fig.6 のトリガーロックボタンを A 側から押すとトリガーのロックがかかります。
(スイッチの引き金が引けない状態になります)



- 6) バッテリーのカバーを外してください。
- 7) Fig.6 のように、本体のバッテリー挿入口にバッテリーをスライドさせて取り付けてください。

Fig.6

4. 使用方法

⚠ 注意



- 給脂先は開放状態で使用してください。閉塞状態による使用は危険です。



- 作業終了後や長時間使用しない場合、または本製品を持ち運ぶ場合は、誤作動を避けるため、必ずプラグが抜いてあるか、トリガーロックボタンがかかっているか、バッテリーが抜いてあるか確認を行ってから持ち運んでください。



- 本製品の連続運転可能時間は1分間となります。1分間を超えて使用する場合は3分間以上冷却時間を設けてください。冷却時間を設けずに使用すると性能および寿命の低下に繋がる可能性があります。

下記 1)~3)項は、製品により作業が異なります。ご使用製品の手順を確認してください。

【EG-400A II 使用時】

- 1) 作業上広範囲に使用の場合は、あらかじめコードリールを用意してください。
- 2) 本体のコードのプラグを AC100V コンセントに差し込んでください。
- 3) スイッチの引き金を引くとモーターが駆動して、カプラー先端からグリースが吐出されます。

【EG-400B II 使用時】

- 1) ご使用の前に、バッテリー(687033)を急速バッテリー充電器(687034)で充電してから本体にセットしてください。充電方法は、本書の「6.2 充電方法」の項を参照してください。
- 2) トリガーロックを解除し、スイッチの引き金を引くとモーターが駆動して、カプラー先端からグリースが吐出されます。

【以降共通】

<NOTE>

- ・カートリッジグリース装着後、本製品を初めて使用する場合は、本体内部のエアが抜けるまでグリースの吐出に時間がかかることがあります。

⚠ 注意



- 密閉場所に給脂する場合は、給脂する場所にグリースが十分満たされるとリリーフフロよりグリースが吐出されます。スイッチを離して給脂を終了してください。



- 高圧での使用時に、リリーフフロより若干グリースが漏れてくる場合があります。これはリリーフの構造によるもので、故障ではありません。



- 周囲温度が高い場所での使用はグリースの粘度が低くなり、最高吐出圧力(40 MPa)まで圧力を上げられないことがあります。グリースを冷やして粘度を上げてください。

- 1) グリースニップルとカプラーの先端をきれいに拭いてからレバーを引き、レバーを引いたままグリースニップルにあててください。レバーから指を離すとチャッキングします。(Fig.7)

- 2) スイッチの引き金を引いてグリースを給脂してください。
グリースが正常に注入されていると、ニップル付近の溝や隙間から古いグリースが押し出されます。
※40 MPa 以上の圧力になると安全装置が作動します。
リリーフ穴からグリースが出てきた場合、それ以上の給脂はできません。
※グリースの温度や粘度によっては安全装置が作動しません。
本製品のモーター駆動音が変わったら、それ以上の給脂はできませんので作業を終了してください。

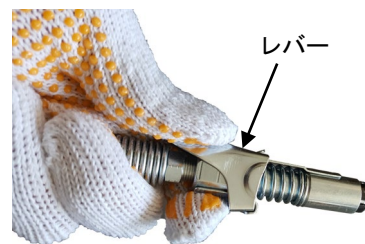


Fig.7

- 3) 給脂が終了し、カプラーをニップルから外す場合は、本体の圧抜きバルブ組立を開き（ゆっくりと左に回す）内部の圧力を抜いてください。このとき、圧抜き穴より若干のグリースが出てきます。
圧力を抜いた後レバーを引き、カプラーを外してください。
（「11. オプション（別売品）」の項（SPK シリーズ）を使用する場合は、上記圧抜き作業は不要です）
- 4) 圧抜きバルブ組立を閉じ（ゆっくりと右に回す）リリーフおよび圧抜き時に出てきたグリースを拭き取ってください。

5. 収納に関して

⚠ 注意



- 収納時や給脂作業でスタンドを使用する場合、製品に過度な力をかけないでください。特に給脂時スタンドを地面につけている状態でスタンドに体重をかけたりすると、スタンドが破損し、ケガをする恐れがあります。

収納時はノズルホルダーにカプラーを接続することで、ホースを収納することができます。スタンドを床面に置き、製品を立てることで本製品を省スペースで収納することが可能です。(Fig.8)

(スタンドによる完全な自立はしないため、壁などで自立の補助をしてください)

給脂時にスタンドを地面に置き、立てて給脂を行うことも可能です。

(本製品を立てて使用する場合は手で製品が倒れないよう補助を行ってください)

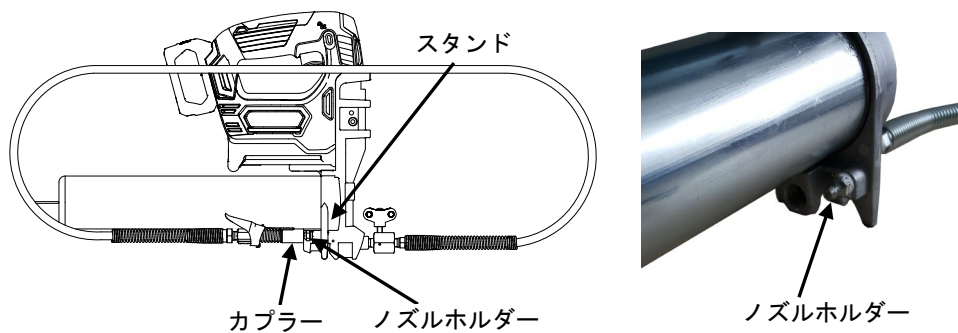
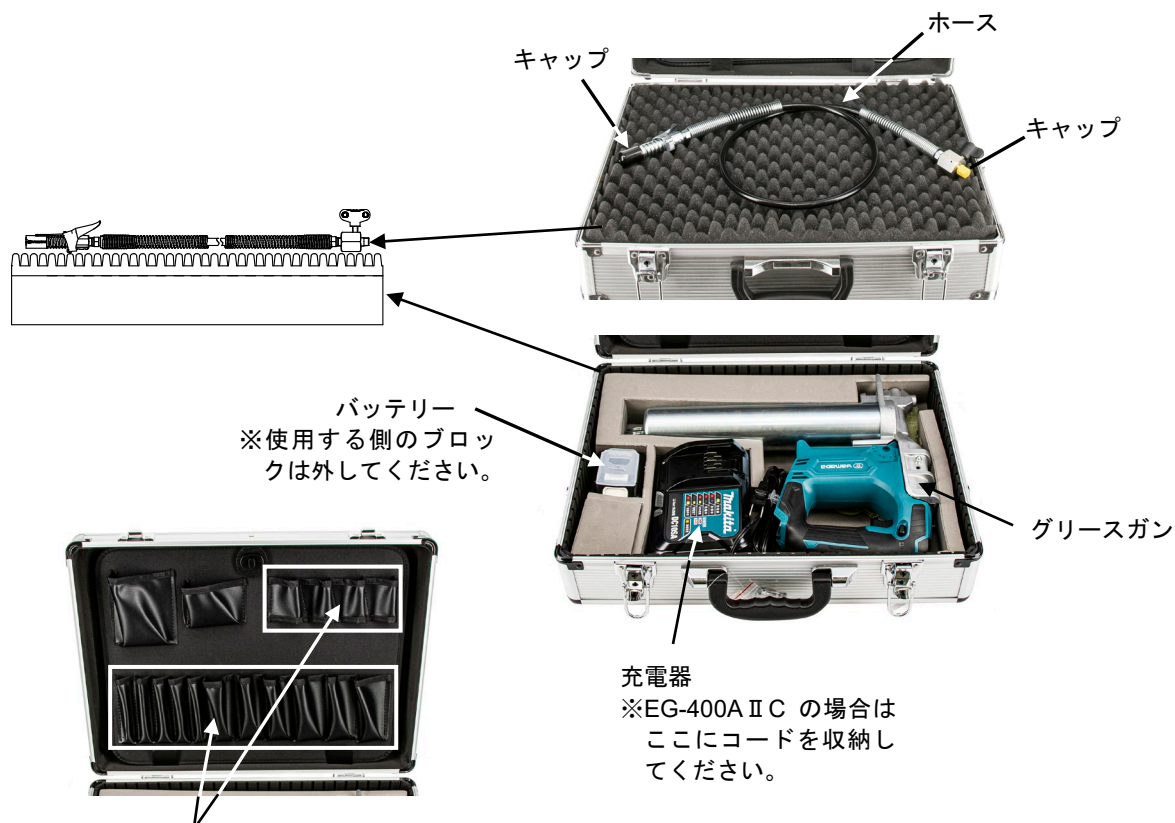


Fig.8

【ケース付きタイプの場合】

ケース付きのタイプは付属のスパナでグリースガンからホースを取り外し、Fig.9 を参考にして収納してください。

※付属の鍵を使用する場合は、鍵はお客様で大切に保管してください。



付属のスパナは工具ポケット（口部内）に入れ、保管してください。

Fig.9

6. バッテリーの使用方法 【EG-400BⅡ】

注意

-  - 専用の充電器以外では絶対に充電を行わないでください。火災、発熱、破裂、液漏れが発生する恐れがあります。
-  - バッテリーは水に濡らさないでください、感電、発火の原因となります。
-  - バッテリーは破裂させると有害物質が排出される恐れがありますので、火中や焼却炉には絶対に入れないでください。
-  - 直射日光の当たる所では充電しないでください。
-  - 急速充電器はバッテリー専用のための充電器です。他の目的には使用しないでください。
-  - 充電器のコードを持って運んだり、コードを引っ掛けてプラグをコンセントから抜いたりしないでください。
-  - 充電器を濡らさないでください。
-  - 昇圧器やエンジン発電機および直流電源からの充電は絶対にしないでください。
-  - 充電器の風窓を塞がないでください。
-  - 充電器を分解しないでください。
-  - 充電器は非防爆仕様です。防爆エリアでの充電はしないでください。
-  - 電源は一般家庭の AC100V を使用してください。
-  - 充電時は火気や燃え易い物から遠ざけて使用してください。
-  - 充電を行う際は、周囲 10℃～40℃の範囲内で充電してください。この周囲温度範囲外充電を行った場合、バッテリーの寿命を縮める恐れがあります。
-  - 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電すると、表示ライトが『赤』の点滅を繰り返す場合があります。
バッテリーの温度が下がると充電を開始します。
-  - 使用後は、コンセントからプラグを抜いてください。
-  - ゴミ詰まりなどでバッテリーと充電器の接点が繋がらない場合は、表示ライトが『赤』の点滅を繰り返します。バッテリーを外し、ゴミを取り除いてから再度充電を行ってください。
-  - 充電開始後、表示ライトが『赤』、『緑』の交互点滅を繰り返す場合は、バッテリーの寿命またはゴミの詰まりで充電できません。バッテリーを外し、ゴミを取り除いてから充電を行ってください。
ゴミを取り除いても現象が改善しない場合は、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

6.1 バッテリーの取り付け、取り外し方法

- 1) バッテリーを取り付ける際はバッテリーを取り付け方向にスライドさせてください。
- 2) バッテリーを取り外すときはバッテリー後部についている取り外しスイッチを引きながら取り外し方向にスライドさせてください。(Fig.10)



Fig.10

6.2 充電方法

急速充電器のプラグを電源に差し込んでください。

- ①表示ライトが『緑』の点滅を繰り返します。
- ②バッテリーを充電器の⊕・⊖に合わせて挿入すると、表示ライトが『赤』に点灯し充電を開始します。
- ③充電が完了すると表示ライトが『緑』の点灯に変わります。

※充電時間は約 60 分です。



Fig.11

6.3 表示ライトの表示内容に関して

ライト表示	点灯 点滅	表示内容
		充電前「緑1個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
		冷却中「赤1個」点滅 バッテリー・充電器が充電可能な温度状態になった後、自動的に充電開始します。
		充電中「赤1個」点灯 バッテリー容量 約0~80%を示します。
		80%充電「赤1個・緑1個」点灯 バッテリー容量 約80~100%を示します。 (80%充電表示は、おおよその目安です。 バッテリーの温度・状態により変動します。)
		充電完了「緑1個」点灯

(異常時のライト表示および表示内容)

		充電不可「赤・緑1個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。
		冷却異常「黄」点滅 冷却ファン故障、または冷却不足です。

7. スピード調整ダイヤルとロックボタンに関して【EG-400AⅡ】

7.1 スピード調整ダイヤルの操作

⚠ 注意



- スピード調整ダイヤルは1～6の範囲でしか調整できません。ダイヤルを回す際は無理な方向に回さないでください。無理な方向に回すとスピード調整ダイヤルが破損してしまう恐れがあります。

EG-400AⅡについているスピード調整ダイヤルを回すことにより、グリースの吐出量を調整することができます。

- スピード調整ダイヤルの数値を高くすると高圧、高吐出量を確保できますが、本製品の寿命が短くなります。また、スピード調整ダイヤルの数値を低くすると低圧、低吐出量となりますが、本製品の寿命が長くなります。
- ダイヤル値とスピードには製品ごとの個体差があります。
- 吐出負荷により、ダイヤル値に関わらずスピードは変動します。

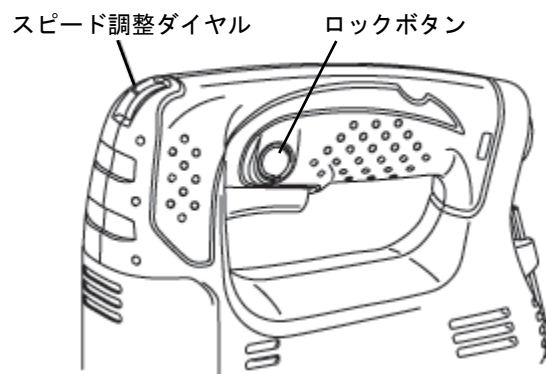


Fig.12

7.2 ロックボタンに関して

⚠ 注意

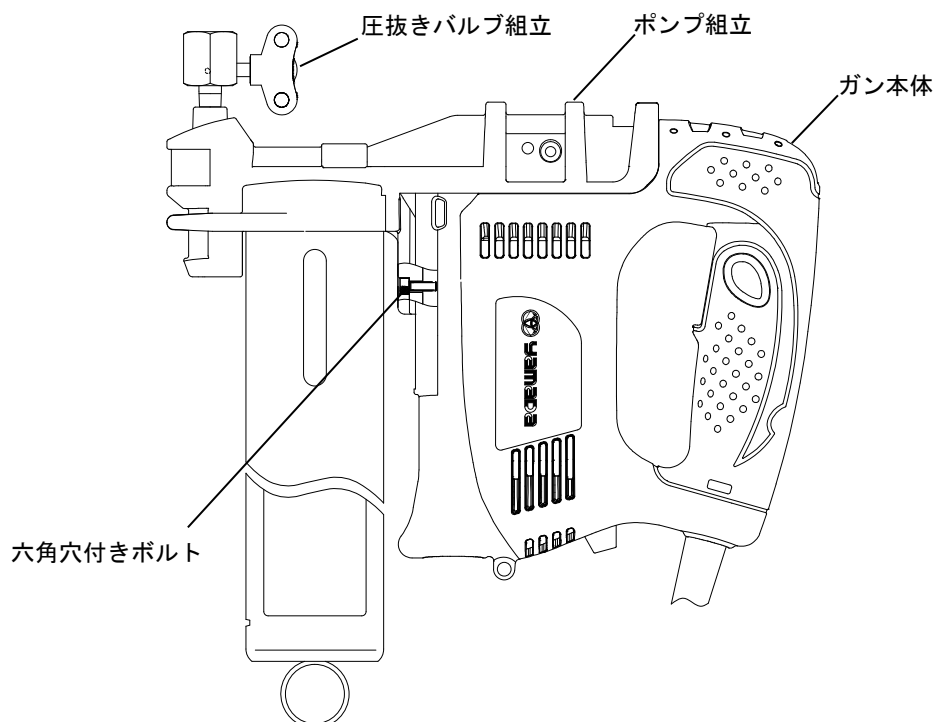


- EG-400AⅡシリーズのロックボタンは使用しないでください。EG-400BⅡシリーズのトリガーロックボタンのように製品の誤作動を防ぐための物ではありません。ロックボタンを使用すると電源投入と同時に自動的に給脂してしまい、思わぬ事故が発生する恐れがあり大変危険です。万が一ロックボタンが作動してしまった場合は、再度引き金を引き、ロックボタンが解除されたことを確認してから引き金を戻してください。

スイッチの引き金を引いた状態でロックボタンを押すと、スイッチの引き金が引かれたままの状態でもールドされます。ロックボタンが作動してしまった場合は、スイッチの引き金を再度引いてください。ロックボタンが解除されます。

8. 保守・点検

ガン本体以外は EG-400A II、EG-400B II 共通です。



8.1 故障原因と対策

状 況	原 因	点検内容および対策
モーターは回転するが、圧力・流量不足	カートリッジグリースが本体に完全にセットされていない	セットのやり直し
	カートリッジグリースの中身がない	カートリッジグリースの交換
	ポンプ組立の摩耗または破損	サービスを依頼
	カプラー、ホースのネジが緩んでいる、圧抜きバルブが閉まっている。	点検・増し締め
	カプラー先端や内部にゴミの詰まり	点検・洗浄
	ガン本体と六角穴付ボルトの緩み	点検・増し締め
	バッテリーの充電不足 (EG-400B II)	バッテリーの充電 「6.2 充電方法」の項を参照
	バッテリーの寿命 (EG-400B II)	バッテリーの交換
	正しいバッテリーが入っていない (EG-400B II)	正しいバッテリーへ交換
	グリース粘度が低い	使用グリースの確認 グリース温度を下げる
	リリーフバルブのスプリングの摩耗 (40 MPa に達していない状態でリリーフロからグリースが出続けてしまい、圧力が上がらない場合)	サービスを依頼
モーターが回転しない	プラグがコンセントに確実に差し込まれていない (EG-400A II)	点検
	モーターの焼き付き	サービスを依頼
	バッテリーの充電不足 (EG-400B II)	バッテリーの充電 「6.2 充電方法」の項を参照
	モーターブラシの摩耗	サービスを依頼
	内部部品のカジリ	サービスを依頼
充電器に電源を供給しても、表示ライトが『緑』に点滅しない	バッテリーもしくは充電器の故障 (EG-400B II)	サービスを依頼
充電器にバッテリーを接続しても、表示ライトが『赤』に点灯または点滅しない		
充電開始後 2 時間以上経過しても充電が完了しない		

8.2 保守・点検

警告



- 本製品は非防滴仕様です。雨水がかかる場所で使用、保管はしないでください。
また、手が濡れている状態で本製品を操作しないでください。感電する恐れがあります。

注意



- 本製品を使用する前に、製品本体にキズがないか、ホースにヒビや劣化がないか確認を行ってください。製品にキズがあったり、ホースが劣化していたりすると人身事故の原因となる恐れがあります。



- 本製品を保管する際は人にぶつかったりしないよう適切な場所に保管してください。本製品が人にぶつかることで本製品が落下し、本製品の故障や思わぬ事故に繋がる可能性があります。



- 本製品の汚れは必ず拭き取り清潔にしておいてください。手を滑らせて製品を落とすことで足をケガすることがあります。

8.3 消耗品に関して

本製品のバッテリー、マイクロホースは消耗品です。

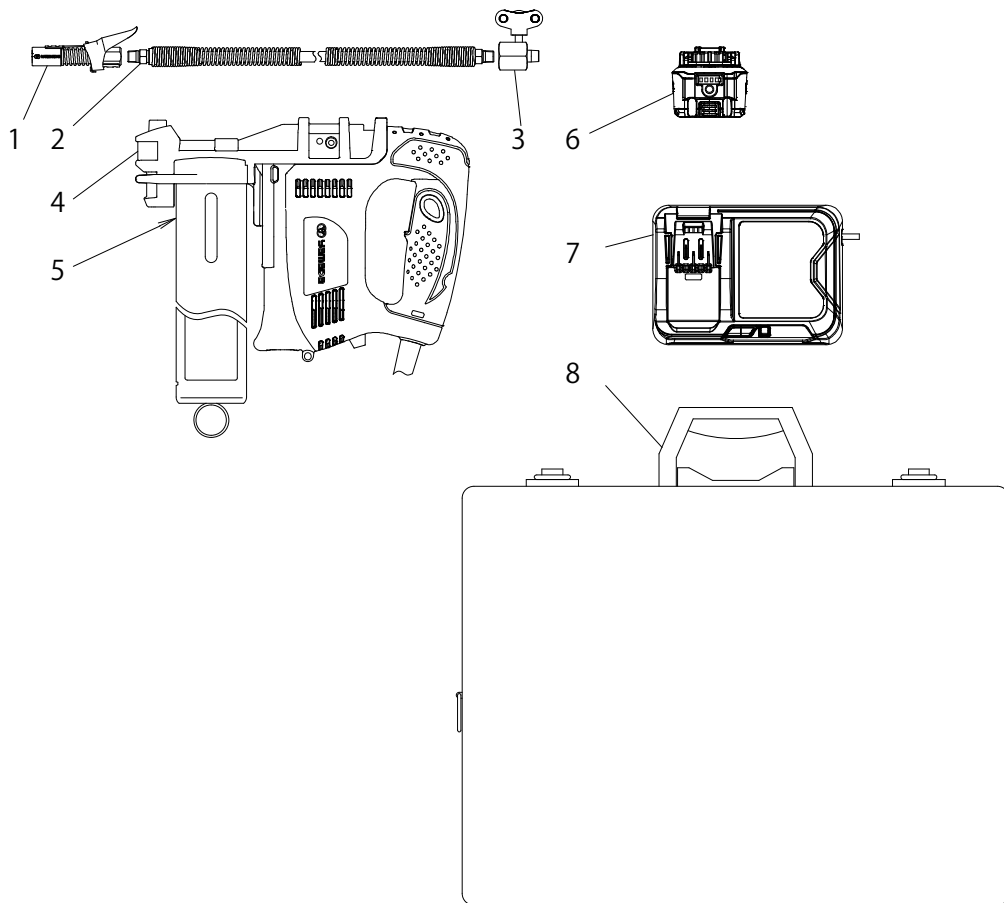
下記を参考にして、交換のサインが出てきたらお買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

部品番号	部品名称	交換のサイン
687033	バッテリー	・ バッテリーの消耗が激しくなったとき ・ 充電器に接続した際に表示ライトが『赤』、『緑』の交互点滅を繰り返す場合 （「6.2 充電方法」の項を参照）
695907	マイクロホース	・ ヒビ、劣化がある際もしくは使用後2年経過した場合
686830	グリースロックカプラー	・ チャッキングしない、チャッキングさせてもチャッキング部からグリースが漏れる場合

9. 構成図・パーツリスト

9.1 855003 EG-400A II

855004 EG-400B II



No.	部品番号		部品名称	員数
	EG-400A II	EG-400B II		
1	686830	←	グリースロックカプラー	1
2	695907	←	マイクロホース	1
3	805293	←	圧抜きバルブ組立	1
4	805299	←	ポンプ組立	1
5	802954	←	油筒組立	1
6		687033	バッテリー	1
7		687034	充電器	1
8	805269	←	ケースセット	1

※ 圧抜きハンドルのみ交換時も必ず No. 805293 圧抜きバルブ組立として交換してください。

※ No. 805299 ポンプ組立にはガン本体は含まれていません。

10. 主要諸元

グリースガン(EG-400Ⅱ)			
製品番号		855003	855004
型式		EG-400AⅡ	EG-400BⅡ
名称		電動式グリースガン	バッテリー式グリースガン
グリース容量		420 ml 蛇腹カートリッジグリース専用	
最高吐出圧力		40 MPa	
定格電圧		AC100V	DC10.8V
最大出力		420 W	400 W
騒音値		90 dB ※1	75 dB ※1
使用環境温度		-10～50 ℃	
保管温度		-10～50 ℃	
最高吐出量	無負荷時	72 g/min 以上	51 g/min 以上
	0.5 MPa 負荷時	72 g/min 以上	51 g/min 以上
	6 MPa 負荷時	70 g/min 以上	50 g/min 以上
本体質量(ケース無)		約 4 kg	
本体質量(ケース有)		約 7 kg	

上記性能は使用グリース：NLGI.2、グリース温度 20 °Cの際に取得した値となります。

(EG-400AⅡはスピードダイヤル 6 の状態となります)

(EG-400BⅡはバッテリー満充電時となります)

※1 は無負荷時での値となります。

充電器(DC10SA)	
入 力 電 圧	単相 AC100V±10 %
入 力 周 波 数	50 / 60 Hz
入 力 容 量	100 VA
出 力 電 圧	DC10.8V
出 力 電 流	DC5.0Ah
充 電 時 間	約 60 分

11. オプション（別売品）

⚠ 注意



－ オプションのホース形状の給脂ノズルの最小曲げ半径は 35 mm です。それ以下の屈曲では使用しないでください。また折れ癖が付いた場合は、純正品と交換してください。



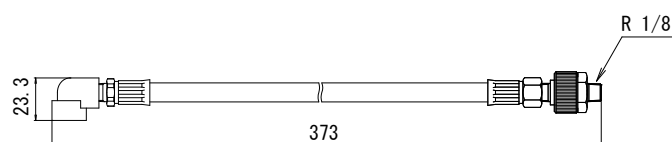
－ オプションのホース形状の給脂ノズルは、経年劣化しますので 2 年ごとに純正品と交換してください。

- ・ 給脂口が狭い所や奥深く給脂しにくい場所にある場合、それぞれに適したマイクロホースを用意しておりますのでご利用ください。

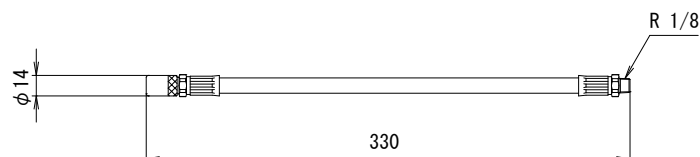
850664 SPK-1C



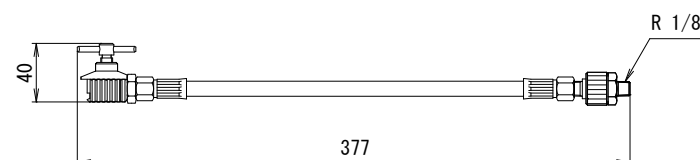
855205 SPK-2C



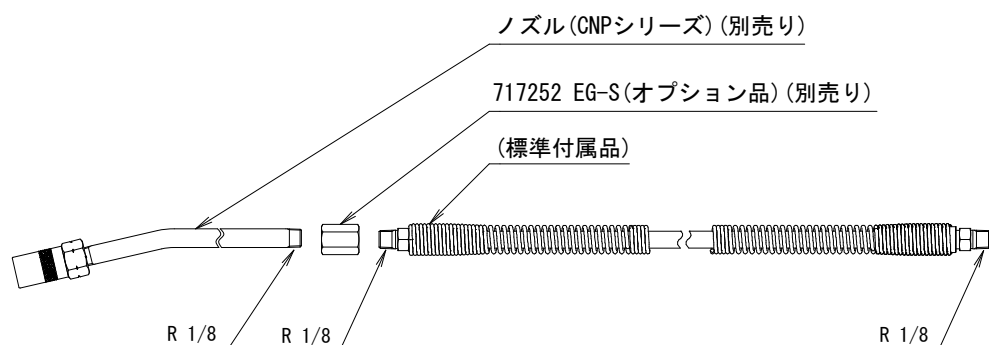
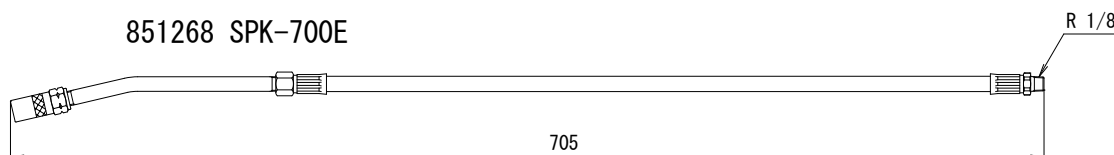
850666 SPK-3C



850381 SPK-20C



851268 SPK-700E



※ 本製品付属のカプラーを別売りのノズルに変更したい場合は、オプション品の No.717252 ソケット (EG-S) をご利用ください。

12. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____ _____		ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

13. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055